

埼玉県立大宮高等学校同窓会会誌

やまぼうし



第8号

2009.7.1

編集発行所
埼玉県立大宮高等学校同窓会
大高やまぼうし会
《事務局》
〒330-0834
埼玉県さいたま市大宮区天沼町2-323
TEL 048-641-0038
フリーダイヤル・フリーFAX
0120-10-9899 (内線6)
0120-10-9184 (FAX)

平成21年度 総会・懇親会



会長挨拶



総会議長



決算報告



事業報告



新会長挨拶



校歌斉唱



司会者



2009.05.30



新役員



37回生



27回生



17回生



渋谷先輩による乾杯



前会長へ記念品贈呈

平成21年 5月30日 (土) 東天紅 JACK大宮店にて開催されました。

平成20年度 総会・懇親会



平成20年 5月17日 (土) 東天紅 JACK大宮店にて開催されました。

会誌「やまぼうし」の発行時期の変更に伴い、21年度総会・懇親会と同時掲載になりました。

同期会・クラス会・部活OB会の開催のお知らせをHPに掲載できます。
住所の変更などは、速やかにご連絡下さい。0120-10-9899 (内線6)

大宮高校同窓会HPアドレス

<http://www.yamaboushi-omiya.com>

同窓会事務局メールアドレス

dousoukai@yamaboushi-omiya.com

会長就任にあたって

大宮高校同窓会
やまぼうし会会長
石塚 幸治



大宮高校やまぼうし会会員の皆様、こんにちは！

五月三〇日(土) 大宮東天紅にて開催されました本年度同窓会総会において新しく会長に推薦され選ばれました第17回卒業の石塚幸治でございます。

簡単に自己紹介をいたしますと、高校時代三年間は朝から晩まで野球一筋でした。同期生の方々には野球部の石塚として記憶にあるかもしれません。大学卒業後、商社勤務約三〇年、二〇〇〇年の大不況時に転職し、現在は防災メーカーに勤めております。

伝統ある「大高やまぼうし会」の会長を務めることになり、その重責をひしひしと感じております。

大宮高校は県立高校として文武両道をモットーに昔からその

名を県内外にとどろかせてきました。これは毎年、在校生徒一人ひとりが主人公として、諸先生方の熱いご指導の下、PTA、後援会のご支援を戴き築き上げてきた結果であります。

その時代時代の主人公たちも大宮高校卒業以降は同窓会会員として高校時代の思い出をずっとならぬと持ち続ける訳ですが、わが同窓会は母校への暖かいサポートと共に、同じ学び舎に育った自分たち同窓会員同士のための『大宮高校2ndステージ』大高やまぼうし会』をすてきなものに、大きくさせることを夢見ています。

中村元会長、本持前会長の二代にわたり副会長として同窓会に携わってききましたが、これからはこの路線をしっかりと踏襲しながら、更に発展させるように、副会長をはじめ同窓会役員の皆様と力を合わせて「大高やまぼうし会」を益々発展させていく所存です。同窓会員の皆様、よろしく願います！

ごあいさつ

更なる飛躍を！

大宮高等学校 校長
森 泉 秀 雄



同窓会の皆様には、本校の教育振興と在校生の激励のために、平素から特段のご後援を賜り、厚く御礼申し上げます。

私事で申し訳ありませんが、私は四〇年前に大宮高校を卒業した第18回生であります。校長として母校に赴任できたことに感謝すると共に生徒の学力が、当時とは比較にならないほど格段に上昇していることに驚いているところでもあります。又、優秀な生徒が集まっているということで県民の本校への期待が大きき、その期待に応えなければならぬという責任を強く感じております。

教職員も、教育熱心で県下一優秀な人材が集まっているのではないかと確信しております。職員一同、浦和高校や浦和一女を模範とし謙虚な精神で「追いつき追い越せ」と日々教科指導力と学力の向上に努めているところでもあります。

三月下旬には東大に現役合格した六名の生徒が校長室に報告に来てくれました。その六人の生徒に確認の意味を込めて質問をしました。塾や予備校に行っただけで合格しましたか？部活動はどうだったか？全員が口を揃えて、「塾・予備校には行きませんでした。学校の授業だけで合格しました。部活は三年生の最後までやって引退しました」との回答でした。その内の三人は運動部に所属しておりました。

最後に同窓会員の皆様には本校をご理解していただくために簡単に今年の進学の状況を示しておきます。国立医大3、東大6、一橋大4、東工大12、北大5、東北大3、筑波1、東京芸大1、東京外語大4、東京農工大8、埼玉大25、千葉大9、お茶大4、横浜国大2、群馬大5、学芸大3、首都大7、名古屋大1、私立大・早稲田92、慶応大37、上智36、明治156、立教108、理科大118、法政45、青山23。

今後とも同窓会員の皆様には、母校への更なるご理解とご支援をお願い申し上げます。

同期会だより

第29回生(昭和五四年三月卒)

平成二〇年十二月六日

大宮高校第29回卒業生同期会が、平成二〇年十二月六日六時から大宮サンパレスにおいて、同期生一五〇名の出席、来賓に大前開先生、須田保先生、高橋日出男先生、千田俊一先生、大宮高校同窓会本持会長のご臨席を賜り開催されました。

第29回卒業生全体の同期会開催は、昭和五四年に卒業して以後初めてのことで、約三〇年ぶりに会った先生方、クラスメイトや部活動の仲間との再会に、同期生が受付するやいなや談笑の輪がいくつも広がり、ロビー



は歓喜に包まれました。同期会は、新野雄彦君の司会により、第29回卒業生同期会準備委



員代表の小杉浩一(旧姓川島)の開催のことばで始まり、中野和人君の乾杯、大宮高校同窓

会本持会長と先生方のご祝辞をいただき、さらに、当時の校舎、学校生活を写した写真をスライドで流すアトラクションなど趣向を凝らして進みました。

参加した同期生は、当時は懐かしく思い出し、また、大宮高校ならではの多士済々の同期生がそれぞれの場所、ポストで活躍していることを知り、大変楽しい同期会となりました。

三時間あまりの同期会は、最後に同期生全員で校歌を合唱し、布施教君の閉会のことばで幕を閉じましたが、今回の同期会をきっかけに途切れていた縁が紡がれ、今、同期生一人一人の抛り所として、それぞれの心に大きな華となって咲いています。

(文責 第29回 小杉浩一)

第49回生(平成二一年三月卒)

平成二一年二月七日

第49回生は大宮高校を卒業して一〇年が経ちました。そこで、私たちは約一年の準備期間を経て、平成二一年二月七日に東天紅JACK大宮店で初めての同期会を開催しました。インターネットや携帯電話等を駆使して、なるべく多くの同期生や恩師である先生方と連絡をとり、当日は一三七名の出席がありました。

一〇年ぶりに会う同期もいましたが、一〇年経っても当時の面影は変わっていませんでした。会場は大宮高校で学んでいた当時の思い出話に花が咲き、近況を聞いてはお互いの益々の発展を願いました。高校時代には話したことのない同期で



も、同期会の場で初めて話をし、仲良くもありました。また、恩師の先生方との再会



の頃のような思い出で盛り上がりました。懐かしい居心地のよさと共に、予定の時間はすぐに過ぎてしまい、最後は恩師の先生方に花束を贈呈して、全員で校歌を歌いながら締めました。

この同期会を通じてつくづく人と人の「輪」(繋がり)の大切さを感じました。今回の同期会には私たち第49回生同士の輪だけでなく、それを支えてくださった同窓会事務局などの大宮高校関係者の皆様との輪があったからこそ成功したものです。この同期会を機として、私たち第49回生の輪がより強く大きくなるだけでなく、同窓会や大宮高校との輪も強く大きくなれば幸いです。

(文責 第49回 橋本賢二)

第57回生(平成一九年三月卒)
平成二二年三月二〇日

「同期会 成人を迎えて」

あれから、二年が経ちました。ずっとしりと重たい卒業証書を受け取り、みんながKiroroの「Best Friend」を歌ったことを今でも鮮明に覚えています。

そんな私たちも今年で二〇歳になり、無事成人式を迎えました。そして成人を迎えたこの節目の時期に、同期会を開催することとなりました。

平成二二年三月二〇日。春分の日に会場となるホテルブリランテ武蔵野に集まった卒業生は、総勢一九五名。一番多いクラスでは、クラスの約八割が出席し、また卒業生全体で



も五割以上の出席に、盛大に行われました。担任してくださった先生方にもご出席いただき、



多くの卒業生が先生方を囲んで、思い出話や近況報告などをして楽しい時間を過ごしました。

友人同士でも会話が弾み、また今回の同期会を機に、仲良くなったなどという話も聞きました。修学旅行や、体育祭、文化祭のように、今回の同期会がひとつの学校行事として、私たちの心に残るものになったと思います。同期会で撮った皆さんの写真が、それを物語っています。どれほどの時間が経とうと、やはり私たちは大宮高校の生徒なのかもしれません。

家に帰って手にした、私たちの卒業アルバムには、今も「輝」という文字がしっかりと刻まれています。まだ大人の仲間入りをしたばかりの私たちが、いつか立派に輝くことを誓い合って、再びそれぞれの道を歩んでゆきます。

(文責 第57回 小林広平)

平成二二年度総会報告

総務部長 松本良夫

平成二二年度の定期総会が五月三〇日(土)、大宮の東天紅において開催されました。

総会は高橋、梅本両幹事の司会のもと、本持会長の挨拶に続き、議長選出が行われました。

藤岡幹事が議長席に着き手際よい議事の進行で第一号議案の二〇年度事業報告、二号議案の二〇年度決算報告並びに監査報告、三号議案の役員改選(案)、四号議案の二二年度事業計画(案)、五号議案の二二年度予算(案)等の審議がなされ一号議案から五号議案まで総べて満場一致で可決されました。

役員改選では本持正二会長から石塚幸治



新会長(17回卒)に引き継がれ前会長の退任挨拶と記念品の贈呈が行われました。本持前

会長ありがとうございまして。また、若い会員が役員に多数選出され同窓会運営メンバーの若返りが行われました。

懇親会は名雲実行委員長の元気でユーモアな一声から始まり、石塚新会長から「全員協力し一致団結して同窓会を盛り上げる」と力強い挨拶がありました。

渋谷顧問の乾杯で歓談が始まり各テーブルから再会を喜ぶ声や笑い声で会場は賑わいました。恒例のビンゴゲームは名雲・村井さんのリードで笑いと興奮は最高潮に達し盛り上がりしました。該当学年の一七回・二七回・三七回生の挨拶もとてもユニークな話が多く笑いが絶えませんでした。

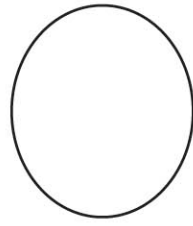
校歌斉唱が飯島さんの応援団エールで高らかに行われ懇親会もお開きとなりました。



寄稿

退任にあたり

前会長 本持正二



前中村会長の任期途中での辞任に伴い、急遽総会で承認されて早三年。任期

二年のところを一年も多く務めさせて頂きました。その間、同窓会事務所も母校内に置くことができ、同窓会専用の電話も新規に設置されました。〇四八―六四一―〇〇三八がその番号です。また創立八〇周年事業を開催することができ、多くの関係者の方にお骨折り頂いていることに感謝する次第です。

大宮高校が県立になって早五十九年。片倉学園時代からの母校のシンボルツリーである「アメリカやまぼうし」の樹木も老朽化しつつありますが、何とか二世の苗木の挿し木に成功し、本年九月から一〇月頃に植樹できる予定です。卒業後、何十年も母校に足を運んでいらつしやらない諸先輩の方々にも、来年の総会時に合わせて母校を一度訪問され、「アメリカやまぼうし」の若木の生長をご覧頂きたいと思います。ところで、教職員御一同のご理解

の下、同窓会費（終身会費）について、五千元を一万円に変更すべく昨年度の総会にて可決されましたが、遺憾ながら第59回の本年卒業生の保護者の皆様との話し合いが不調に終わり、ご賛同頂けませんでした。浦和高校、春日部高校、熊谷高校等の同窓会費を鑑みるに残念至極であります。PTAとの交渉時の会長として責任の一端を感じております。従いまして、同窓会活動をより活性化するためのご支援として、今後同窓生の皆様には賛助会費へのご協力をお願いいたします。

昨今の卒業生の皆さんが、東京大学はじめ、有名大学への現役合格を多数果たしていることからおわかりのように、母校は県下有数の有名校となりました。長い間の先生方のご努力、ご精進に敬意を表す次第です。

母校大宮高校のますますの発展と、教職員、在校生、同窓生皆様のご健康を祈念して、退任のご挨拶に代えさせていただきます。

『私と大宮高校』

41回生 栗野(斉藤)久美子

自分の人生の中でどの時代が好きかと聞かれたら、高校時代と答えるくらい、大宮高校が大好きです。そ

の思いが通じてか、私の夫も大宮高校の同級生で、彼の姉も弟も大高出身です。私の高校の親友も、同級生と結婚しています。でも、彼女も私も、高校の時には夫となる人とは面識ありませんでした。私の場合、卒業して七年后に元マネージャーに誘われたサッカー部のOB戦に行き、その時に初めて彼と話したのです。これは、大高の特色である「男女併学」の成せる業ではないでしょうか。

この「男女併学」は、本当に面白いものでした。ホームルームで交流会と称して男子クラスと「手つなぎ鬼」をやつたのを始まりに驚く事が続いたのです。男女の教室は離れているのに、なぜか体育のプールの時は男子がすぐ隣で泳いでいるのです。泳ぎの苦手だった私は、先生からの熱血指導で平泳ぎの足の動きを男子の目の前でする羽目になったのでした。文化祭は、人数の少ない女子にとつて、いい思いが出来ました。申込みに来た男クラ二、三クラスの男子を調査・吟味して、一クラスを選びぶのは楽しいものでした。ちなみに夫のクラスは女子クラスに振られたそうです。文化祭や体育祭の後には、カップル誕生の季節。通称「カップル通り」と言われた道を歩いて駅まで帰るのが、みんなの憧れでした。そして、期末テストの後に行く「るー

ばん」は、男の友達を作る出会いの場所でした。「るーばん」もなくありませんでしたが、カラオケや映画など高校の思い出のスポット「ハタボール」がなくなってしまうのは残念なことです。

陽の当たらない弓道場で弓を引いていた私ですが、熱い姿を見に、サッカー部、ラグビー部、野球部の試合など友人とよく行きました。私達が三年の時、ラグビー部が準決勝まで進んだ時には、友人と授業をさぼって観に行つたのですが、驚いたことに大勢の生徒が応援しに来たのです。普段は真面目な子も、みんな一体となれて、とても熱い気持ちになりました。

夫は元大高サッカー部の仲間と毎週フットサルをやつていて、おじさんチームながら奇跡の連覇を成し遂げています。お酒を飲みながら、試合のDVDを見て熱くサッカー談義をする仲間はいいものです。私は、ちよつと目立つ六人グループにいたのですが、それぞれ結婚した今でも、たまに家族を巻き込み、飲んで昔話に花を咲かせています。中学の先生に白岡から大宮高校を受験することを見かねて大宮高校に入れたことをうれしく思っています。この仲間を大切にしていきたいです。

大宮高校だより

国際交流



本校における平成二〇年度の国際理解教育の活動は、八月一四日(木)～八月二七日(水)の一四日間に渡り、ドイツ姉妹校の生徒(一五名)を短期受入プログラムとして受入れた。本校ホスト生徒や国際交流委員と共に、県内外の施設見学や体験学習を経験し、互いの交流を深めていった。また、八月一四日(金)～三月二一日(木)の期間で、ドイツ姉妹校の生徒(一名)を長期留学生として受入れた。一年生のクラスに所属し、授業のみならず部活動にも積極的に参加することで、日本語の習得のみならず、文化や国民性の理解にも努めていた。

これらの活動に対して、保護者の皆様には多大なる御理解と御指導を賜りましたことを、心から感謝すると共に、今後も変わらぬ御支援が頂けますようお願い申し上げます。

「再会を夢見て」

鈴木 洋子 母親

昨年ドイツでお世話になったお宅のJimと、仲良くしてくれたJonasが我家にやってきました。本当に礼儀正しい子ども達で、どのように育てたらこんなに良い子になるのかしら?と、ご両親に頭の下がる思いでした。日本人でも、蒸し暑くて疲れてしまう日本の夏。きっと初めて食べるだろう日本食。習慣の違う生活。言葉の通じない人々。そんな中でも笑顔絶えず、積極的に話しかけ、いろいろな食材に挑戦し、いつも感謝してくれる姿は、見ていて気持ちの良いものだったし、もともと何かしてあげたくなかった。さすがに、みそ汁は苦手だったが、申し訳なき気に「無理みたい。」という姿も可愛らしかった。整理整頓された荷物にも感動したのを覚えている。昨年、ドイツに行った娘は、こんなに良い子だったろうか?と考えるようになりました。日本語も一生懸命覚えようと努力し、帰る頃には、私の質問を聞きとって、通訳無しで答えていた。私の単語をならべただけの言葉に勘を働かせ、「こういう意味?」「こういう事?」と、聞き返してくれた。なんて頭の良い子なのかしらと、ただただ驚きと感動の連続だった。Jonasもまた可愛くて頭の良い子だった。欧州の男の子らしく紳士的に接してくれる姿は、映画のワンシーンを見るようで、うれしい発見だった。ふたりの子ども達は、「また会いにくるからね。」「お母さん大好き。」の言葉を残し帰って行った。帰国後こちらの時間に合わせて電話をくれたり、LINEをくれた二人には、本当にまたいつか会いたいなあと、毎日思っている。そして、なぜ娘が会いたい会いたいと言いつつ、ドイツに留学したいと願いつづけているのか、理解できる気がした受け入れだった。最後にになりましたが、他のホスト・ファミリーの方々、娘を支えて下さったお友達や先生方、このような機会を与えて下さった大宮高校に感謝の気持ちでいっぱいです。

大高祭



九月六日(土) 七日(日)に第58回大高祭(文化祭)が行われました。今年の大高祭は、「Hi Honey」はじけちゃいなYO!と花ざかりの大高祭*2008をスローガンに、どこよりも明るく楽しく元気のよい文化祭にしようと、実行委員をはじめ、全校一丸となつて準備に励みました。当日は天気にも恵まれ、保護者・地域の皆様をはじめ、卒業生から中学生まで三千人以上のご来場をいただき、盛況のうちに終えることができました。

部活動

運動部

- 陸上競技
 - 北関東大会出場 (男子3段跳び)
 - 県新人大会 男子400mハードル
 - 4位(県指定強化選手)
- ソフトテニス
 - 男子団体 県新人大会ベスト8
 - 女子団体 県新人大会ベスト16
- バレーボール 男子
 - 関東予選ベスト16
 - インハイ県予選ベスト16
- ボート
 - 春季関東大会(女子クオドルプル5位)
 - 秋季関東大会出場
- 剣道
 - 女子団体 関東予選・県新人大会ベスト16
 - 女子個人県ベスト16
- 弓道 女子個人 関東予選2位
- 空手 男子団体 インハイ県予選ベスト8
- 水泳 関東大会 女子背泳ぎ(100m)出場
- 卓球 男子団体 関東予選県大会ベスト16

文化部

- 美術 埼玉県美術展覧会 入選2名
 - 書道 県硬筆展 推薦賞1名
 - 県書き初め展 推薦賞2名
 - 棋道 全国総合文化祭(囲碁)
 - 音楽 関東大会(囲碁) 女子個人出場
 - 全国合唱コンクール県大会 銀賞
 - ギター 全日本学生ギターコンクール銀賞
 - 吹奏楽
 - 西関東大会金賞
 - アンサンブルコンテスト全国大会出場
- ※5月23日(土)に、さいたま市文化センターにて、第38回定期演奏会を開催

同窓生の先生方

- ①担当教科
- ②担当部活
- ③担当分掌
- ④ひとこと



内田浩光先生 ①理科(化学) ②ソフトウェア部 ③教務 ④山ぼうし会館、東校舎のほかは在学中と変わっていません。後輩でもある生徒たちのために頑張ります。



伊藤茂樹先生 ①地歴(日本史) ②山岳部 ③進路指導 ④そろそろ友達の子供が入学してきそうです。山岳部室で二十数年前の自分の高校の頃の写真を見つけました。



小田川功先生 ①保健体育 ②サッカー部 ③生徒指導(主任) ④姿勢は変わりましたが、気持ちは30数年前のままで頑張っています。



斉藤俊晃先生 ①数学 ②バレーボール部 ③進路指導 ④母校の教壇に立つことができて幸せに感じています。後輩となる生徒たちの力を引き出せるよう努力しています。



鈴木一行先生 ①数学 ②水泳部 ③教務 ④日々、勉強です。頑張っています。と思っています。



鈴木千晴先生 ①国語 ②演劇部 ③生徒指導 ④大高祭で時折OGの方とお会いすることがあります。今年もお待ちしています。



三沢豊先生 ①音楽 ②音楽部 ③保健環境(主任) ④6年前の赴任時、9名だった音楽部も現在56名となりました。関東・全国コンクール出場を目指して、今年もがんばります。



薬師寺将二先生 ①数学 ②剣道部 ③涉外 ④着任6年目。剣道部がこの6月に16年ぶりに関東大会(女子個人・茨城県鹿嶋市にて)に出場します。数学も剣道も、後輩たちに負けないよう頑張ります。

賛助会費についての報告・御礼・お願い

会員各位からの賛助金と会報購読協賛金のおかげで、経費のかかる会報を発行することができました。深く御礼申し上げます。引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

①2008年春の賛助金の合計	103口	515,000円
②2008年会報購読協賛金	173口	346,000円

昨年度(2008年度)賛助金・協賛金の合計 861,000円

賛助金をお寄せくださった方々(敬称略 2009年3月現在)

高女09回 福田月よの	県立04回 松本一男	県立08回 森ハツ江	県立16回 矢島敦子	県立26回 遠藤康弘
高女11回 森田百合子	県立04回 南旭栄	県立08回 矢作理和子	県立17回 石塚幸治	県立26回 高橋孝行
高女14回 森口秀子	県立04回 渡邊一久	県立08回 山本嘉男	県立17回 加藤憲一	県立26回 矢島光男
農商11回 長島好一	県立05回 井上光夫	県立09回 齋藤善貞	県立17回 中野美春	県立26回 吉田進
農商11回 樋上吉郎	県立05回 大矢桂子	県立09回 杉山桃子	県立17回 中村敬	県立28回 永峰博之
片倉01回 渋谷十	県立05回 小俣昌子	県立09回 林克巳	県立18回 新井幸男	県立29回 志水香苗
片倉02回 天海清	県立05回 木戸健嗣	県立10回 内田秀規	県立18回 蟻川元司	県立29回 同期会
片倉02回 矢島信男	県立05回 本持正二	県立10回 高橋和延	県立18回 加藤千恵子	県立32回 吉田秀文
片倉03回 田中照二	県立05回 山崎豊彦	県立11回 青木重幸	県立18回 佐藤常吉	県立33回 菅井千恵子
片倉03回 町田賢一	県立06回 天沼義江	県立12回 中井川勝彦	県立18回 柴崎良一	県立37回 上石節子
片中01回 野口幸男	県立06回 長澤巖	県立14回 中田世津子	県立18回 森泉秀雄	県立37回 松島宣正
片中02回 出窪昭一	県立07回 宇賀神道子	県立14回 長谷川久子	県立19回 稲川豊	県立42回 同期会
大中01回 細沼徳彦	県立07回 大石榮子	県立14回 和田マチ子	県立19回 大内顕示	県立46回 平澤洋史
一高01回 森田昭吾	県立07回 小島美智子	県立15回 吉川久子	県立19回 中津川敏明	県立49回 小川恵美奈
県立01回 長島静江	県立07回 白根繁光	県立16回 飯島清	県立19回 渡辺泉	県立58回 加藤翼
県立03回 佐々木実	県立08回 荒井泰子	県立16回 加藤友子	県立20回 畑中幸夫	
県立03回 山田康王	県立08回 佐渡和夫	県立16回 白子清	県立20回 三瓶善弘	
県立04回 関野万昌	県立08回 松本良夫	県立16回 中山公喜	県立23回 望月正雄	
県立04回 枡原八重子	県立08回 迎正子	県立16回 原澤由紀代	県立26回 梅本芳	

第8回 やまぼうしコンペ

2008年11月7日、県北利根川上流にある新玉村ゴルフクラブに於いて第8回やまぼうしコンペが行われました。前日の荒天から当日の天気心配されましたが、小雨も朝のうちに上がり、一安心。例年土曜日に開催してまいりましたが、平日にとの要望もありプレー費も格安の為、今回は平日開催を致しました。この度はPR不足もあって、参加人数は11名と少なめでしたが、その分、アットホームなコンペとなりました。このコースは、関越道の児玉インター近くにありますが、河川敷でありながら、川はほとんど見えず、林間コースの様相です。クラブハウスから出るとすぐ、2m程の掘割を渡りますが、その足元に抱えるような鯉が数匹、その周りをオイカワが数百ほども泳いでいます。筆者は何度か訪れているので「お、今回も居た!」と思いつつ、初めて見る人は「おー」、「あらーす鯉・・・」。平日の為、割安でキャディ付きカートでのプレーをする事が出来ました。特に初心者の方には喜んでいただけたと思います。

しかしながら、プレーはいつもの事、思うように行かないのがゴルフの面白いところで、あちこちでキャディさんの「ふぉあー」の掛け声を聞きながら打数を重ねていきます。そしてスコアを着に昼食、午後は挽回するぞ!・・・。結果は「フォアー」・・・。ささやかなパーティーの後解散となりました。

(文責 守屋吉康)

順位	氏名	スコア	ネット
1位	小林 一郎	83	72.2
2位	五明 顕二	89	75.8
3位	中村 孝三	91	76.6



ウォーキング会の報告

21年4月4日 見沼代用水東縁を散策。東武線七里駅を出発、八分咲きの桜並木の下、大崎公園まで約6kの行程でした。参加者15名。途中、満員の見沼自然公園を抜け、鷲山公園で昼食を摂り、旧見沼用水保全区域を經由、大崎処理場前よりバス、浦和駅解散となりました。用水縁を歩きながら、かつて諏訪湖に匹敵する面積の沼が此处に在ったことを思うと夢のようで、「その景色たるや山紫水明のごとし」だったそうです。きっと観光地だったのでしょう。遙か水面を船が行き来する光景を思い浮かべながら散策を終えました。(文責 守屋吉康)

ウォーキング会に参加して [参加者寄稿]

絶好の行楽日和、大宮駅で迷コンビが2年ぶりに合流、七里駅に降り立つや、5年ぶりかな?のアッチャン(不参加)が応援?の差し入れ持って待ちうけ...ラッキー!!

嬉しいスタートです。初参加の私達、皆さんと仲良く会話が出来ると、とても不安の参加でしたが、そんな事は何処へやら、自然に会話も弾み、見沼代用水の桜並木は素晴らしく、途中も野草摘みをする人も居て、ゆったりした、優しい気持ちにさせられた時間でした。途中購入した野草でこごみの天麩羅、菜の花の辛し和え、夕食は春がいっぱい。お腹もいっぱい!! 楽しい一日をありがとう。

(17回生 藤沢市在住イッチャン&さいたま市在住ハツちゃん)



クラス会・同期会・部活OB会の開催状況をお知らせください

住所の変更などは速やかにご連絡ください

「やまぼうし」第8号

企画 埼玉県立大宮高等学校
同窓会 やまぼうし会
題字 10回生 村井紫扇
発行 平成21年7月1日
印刷 (株)イーピーエス

<http://www.yamaboushi-omiya.com>

編集後記

「やまぼうし第8号」をお届けいたします。今号から発行時期が7月になりました。当該年度の総会・懇親会の報告を「やまぼうし」に掲載したいとの意見が反映された結果です。原稿と写真をお寄せいただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

(26回生 高橋 孝行)